

## ☆子どもサポート事業

### 【いきいき自然探険隊】

- 目的 自然との出会いを体感することで、自然を大切にできる心と自然と共生する感覚を身につける。
- 目標 自然を感じる。自然の中で自分の身を守れるようになること。刃物の扱い方を身につけること。
- 場所 三瓶山子三瓶山麓の三瓶ふれあいの森（50ha）
- 内容 2017年6月11日（日）10:00～15:00  
雨天のため屋内活動に変更（三瓶北の原キャンプ場多目的ホール）  
自然の素材を使った工作・葉っぱ調べ・どんぐりゴマづくり・ネイチャーゲーム・種の模型を使った遊び  
参加者：子ども9人、スタッフ4人、森林官2人
- 2017年10月22日（土）  
参加者キャンセルのため中止
- 評価 秋の参加者が少なかったのは、実施日が土曜日だったからではないかと考える。日程の立て方とプログラム内容の充実を図り、ボランティアの確保を確実にすることが必要。  
雨バージョンの活動の打ち合わせが十分でなかった。

### 【おそとであそぼっ！】

- 目的 ・子育ての負担感、不安感の軽減  
・子どもの発達保障のため、特に大切な乳幼児期に必要な環境を提供すること
- 目標 ・親が子どもに干渉しすぎず、見守る支援スタンスを伝えること  
・子どもの発達に必要な環境を親が理解すること  
・子どもとメディアについての情報を伝えること
- 内容 砂遊び、水遊びを中心とした外あそびと、保護者対象のお話（子どもにとっての外あそびの必要性、スマホ育児の危険性などについて）

### ❁雲南市おそとであそぼっ!実行委員会主催

2017年 6月 5日（水）会場：元幡屋小学校ひろば

参加人数：親子6組

2017年 9月 9日（金）会場：旧久野幼稚園ひろば

参加人数：9組

2017年 9月14日（月）会場：佐世幼稚園園庭

参加人数：5組

2016年 9月27日（水）会場：入間交流センター

参加人数：3組

2016年10月12日（木）会場：斐伊交流センター

参加人数：7組

❁2017年10月13日（土）会場：松江市子育て支援センターあいあい

参加人数：45組

❁子どもとおしゃべりカフェ 主催：親子リズムサークル

子どもとメディアのおはなし

2017年 9月 29日(火) 会場：松江市津田公民館

参加人数：10組

評価 松江市子育て支援センターで「おそとであそぼっ！」を実施できたことは大きな前進といえる。しかし、乳幼児を取り巻く環境はますます厳しくなっており、乳幼児の発達とメディアについての啓発をさらに進める必要がある。雲南市では乳幼児に関わるスタッフや参加した親を中心に、乳幼児の育ちに外あそびが必要であることが浸透してきているように感じる。今後は地域で継続実施できるように支援していくことが必要。また、県内で実施できていないところも多く、広報活動などで子どもの外あそびの必要性を発信していくことが必要。

【乳幼児の育ち応援プロジェクト事業】

和幸グループ創業100周年事業～子どもの健全育成や社会教育の推進～

目的 ・スマホ育児による子どもの発達阻害の防止と子どものメディア漬けの生活からの脱却  
・子どもの豊かな心と脳の育成、親子コミュニケーション能力の向上  
・親の子どもへの過干渉を止め、子どもの主体性を大切に子どもとの関わり方を親が学ぶこと  
・親や子どもに関わる人が、乳幼児の発達の重要性を認識し、その発達に必要な環境を整えることに配慮すること

目標 乳幼児とメディアに関する講演会を開催し、島根県内の乳幼児の育ちを応援する  
乳幼児が発達するために必要な環境（外あそび・わらべうた）を提案する

内容 1) 講演会「乳幼児の発達とメディア環境」 参加者 57人(学生1)  
乳幼児期の発達のみちすじを理解し、そのために必要な環境を整えることとメディアの関係を明らかにすることで、乳幼児の育ちを応援する。

対象：子ども支援者・スタッフ、子育て当事者、保育士、

子育て支援センター、保育士養成校(県大・専門学校等) 地域・行政関係者

日時：平成29年11月12日(日) 13:30～15:30

場所：島根県民会館大会議室

講師：山田真理子さん

(NPO法人子どもとメディア代表理事・NPO法人子どもと保育研究所ぷろほ所長  
九州大谷短期大学名誉教授)

2) 「おそとであそぼっ！」スタッフ養成講座 参加者 23人

子どもの育ちにとっての外遊びの意義、子どもの主体性を育む遊びにおける子育て当事者・支援者のスタンスを学ぶことで、子どもの日常生活の中での「外あそび」を進める。

対象：子育て支援センター、子ども支援者・スタッフ、子育て当事者

日時：平成29年12月10日(日) 10～15

場所：雲南市三刀屋交流センター

講師：天野秀昭さん

(大正大学特命教授・NPO法人日本冒険遊び場づくり協会副代表)

外遊びの必要性について リスクとハザード

午前：講義 午後：座談会

3)「わらべうたであそぼっ!」スタッフ養成講座 参加者 8人

親子のコミュニケーションを深めるわらべうたを学ぶことで、家庭や子育て支援センターなど子育ての場で日常的に、わらべうたを活用できる環境づくりを進める

対象：子育て当事者、子育て支援センター、子ども支援者・スタッフ

子ども支援に関心のある方、行政関係者

日時：平成30年1月14日（日）13:30～15:30

場所：雲南市三刀屋交流センター

講師：永見寿江さん（わらべうた研修会：境港親と子どもの劇場）

評価

参加者数が定員に達しなかった。講演会：一番参加してほしかった保育関係者の参加が少なかった。

講演会・講座参加者の満足度が高く、参加者自身が今後行動を起こす可能性が高い。乳幼児の発達とメディアの関係、乳幼児の遊び環境への理解が深まった。

☆アートサポート事業

【ホッとアートプレゼント】

目的 日ごろ文化芸術にふれる機会の少ない入院中、闘病中の子どもたちに、病院の中で、文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちのQOL向上に寄与する。

目標 子どもたちが楽しい時間を過ごすこと

場所 島根大学医学部附属病院小児センター（出雲市）

内容 Aプログラム（プロフェッショナルによるパフォーマンス）

☆「びりとブッチィーのクラウニングシアター」（蒼い企画）

2017年7月25日（火）

参加人数：子ども：12人 おとな(家族)：12人 病院関係者：15人

病室訪問：1人

Bプログラム（地域の人材によるプログラム）

☆音楽療法士による音楽ワークショップ

2017年6月20日（火）親子10組、病室訪問1人

2017年11月21日（火）親子7組

☆紙あそびワークショップ

2017年8月25日（金）感染症のため中止 後日実施：2018年1月25日（木）

☆クリスマス会 参加 2017年12月12日（火）

Cプログラム

☆絵本カーニバル2017 絵本展示

2017年8月25日～9月4日

2018年1月20日～2月2日

評価

Aプログラム実施時期の夏休みは、病院スタッフが忙しく、受け入れが負担になった。病院側との更なるコミュニケーションが必要。

☆ネットワーク事業

【しまね子育て支援ネットワーク つながるネ！ット】

子育て支援に取り組む島根県内の非営利の市民団体と個人のネットワーク

目的 参画団体等の交流・情報交換・研修・連携・協働を推進する。

活動交流、スキルアップ及び支援ネットワークの拡大を目的とする。

目標 支援ネットワーク拡大、団体のスキルアップと全県大交流会2016実施

内容 ◆平成29年度総会

東部：2017年4月25日(火)13:30～松江市市民活動センター506

西部：2017年4月24日(月)10:00～浜田のまちの縁側

◆県と子ども子育て関係団体の意見交換会

東部：8/7 5団体7人 県：2課 西部：8/16 4団体6人 県：2課

◆県内各界の意見等を聴く会 中田参加 10/24 サンラポーむらくも

◆浜田市議会との意見交換会 2/20 5団体8人

◆活動報告書2016 8月150部

◆平成29年度NPO等民間団体のネットワーク会議開催事業（島根県委託）

<西部>

・7/1(土)全県大交流会2017IN西部 13:30～16:20いわみ～る

子育て講演会&交流会「子どもの学びを支える心の育ち～これからの時代に必要な力をどう育むか～」肥後功一さん

・10/21(土) いっしょに体験☆外あそび! 浜田市子育て支援センターすくすく

<東部>

・8/20～24 プレーパーク連続開催

みんなのあそびば・プレプレまつえキッズ

(しまね子どもセンター：おそとであそぼっ!で参加)

城西プレーパーク (しまね子どもセンター：カプラで参加)

・8/26(土) つながるネ！ット子ども☆土曜夜市 IN 京店

8団体+子ども子育て支援課

◆世話人会 4/14委託事業打合せ(6/19 10/30 2/19)

評価 団体の外への発信ができていない。